

埋蔵文化財センター移転事業公共事業評価について (パブリックコメントの実施)

1 公共事業評価について

一定規模以上の公共事業で、実施段階の経費を新たに予算化する前までに行うもの

【実施の流れ】

- ① 内部評価（公共事業評価調整会議）・・・10月28日（水）
- ② 外部評価（公共事業評価に関する検討会議）・・・11月25日（水）

③ パブリックコメント

期間：令和2（2020）年12月11日（金）～令和3（2021）年1月12日（火）

2 事業概要

老朽化し、多くの課題が生じている、埋蔵文化財センターを移転する。
移転先は旧八幡市民会館とし、用途変更に必要な改修を行う。
移転に伴い、南方収蔵庫も統合する。

(1) 事業箇所 八幡東区尾倉二丁目6番5号

(2) 事業期間 令和2（2020）年度～令和6（2024）年度

令和2（2020）年度	基本設計、公共事業評価
〃 3（2021）年度	実施設計
〃 4（2022）～5（2023）年度	改修工事、展示設計
〃 6（2024）年度	改修工事、展示工事、 オープン予定

(3) 事業効果

- ①現在の埋蔵文化財センターの課題（老朽化、収蔵スペースの不足等）の解決
- ②旧八幡市民会館の保存と活用
- ③移転に伴う現施設跡地及び南方収蔵庫跡地の有効活用
- ④新施設周辺の他の文化施設との連携、八幡東区平野地区の活性化

(4) 全体事業費 1,919百万円

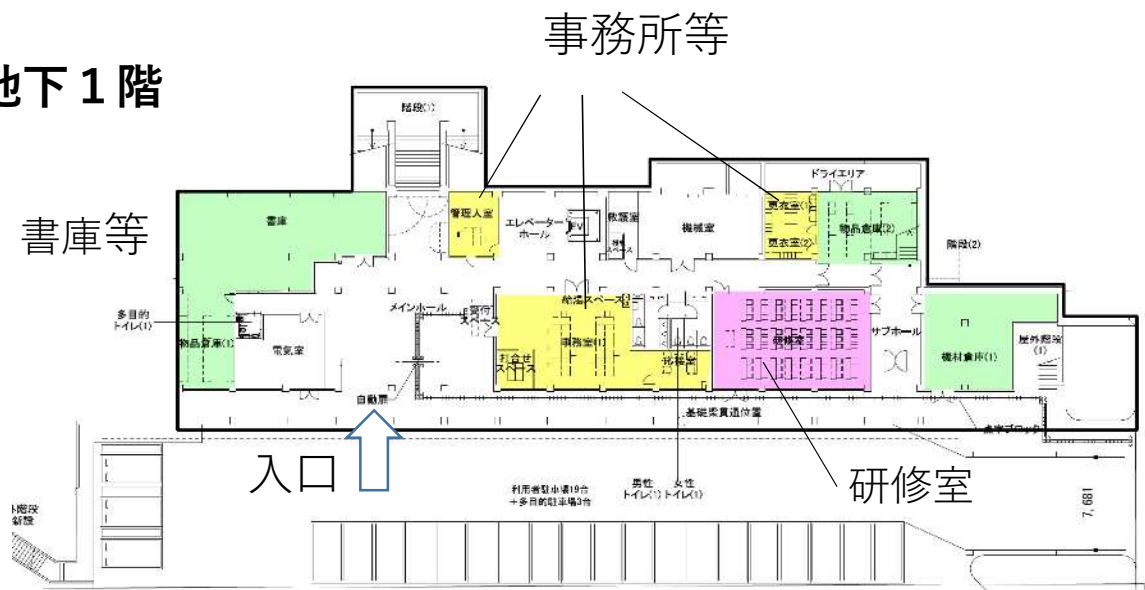
(単位：百万円)

事業費内訳		市費	国庫補助	起債
設計監理	123	251	55	1,613
改修費	1,546		文化庁補助	地域活性化事業債 (公共施設等適正管理 推進事業債)
解体費	60		※展示工事費	
その他	190			

(その他：収蔵棚等備品費、展示工事費等)

■移転後の埋蔵文化財センター（各階配置図）

地下1階

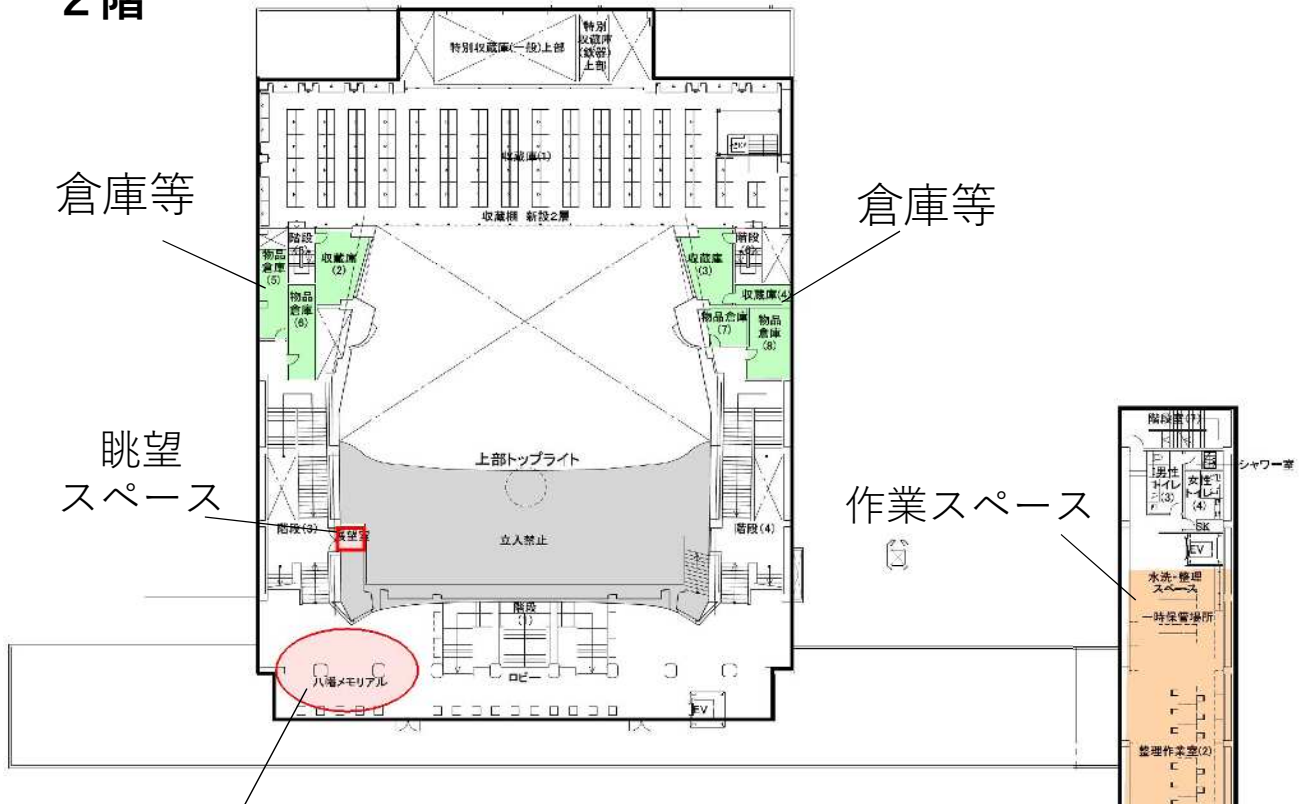


1階



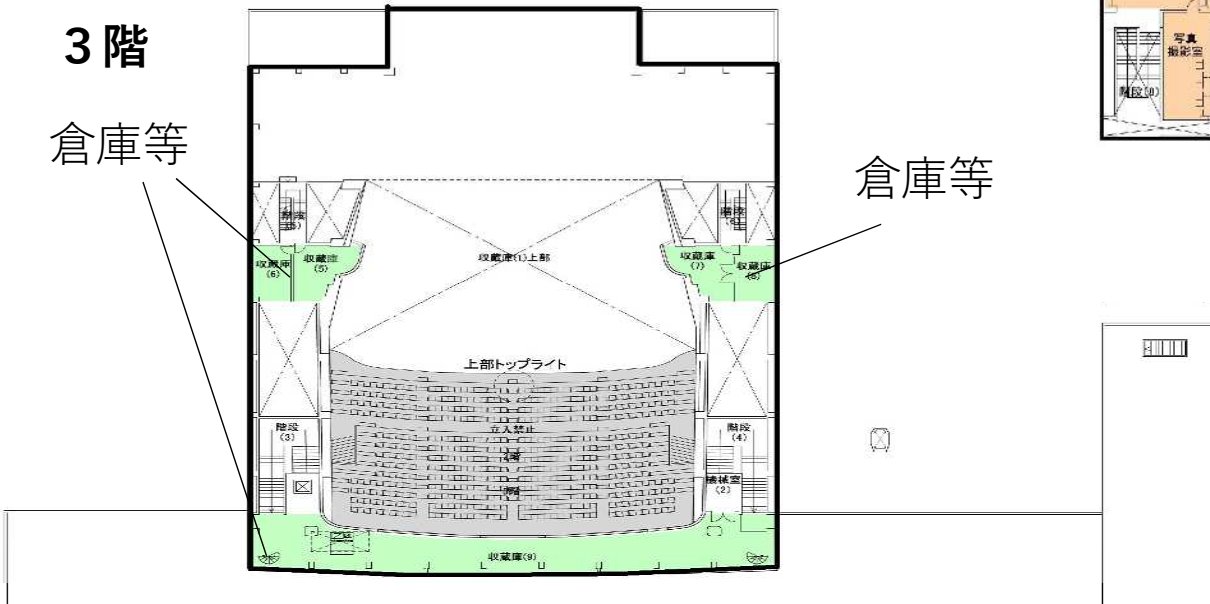
- ・来館者は地下1階から入館し、上層階に移動
- ・研修室では、講座や様々なワークショップを開催
- ・作業スペースでは発掘調査に伴う出土品の整理等を実施
- ・ホワイエを利用した開放的な展示を行う
- ・収蔵庫と整理作業室の作業風景が見学できる空間を設置

2階



旧八幡市民会館に関する展示スペース

3階



- ・ 2階ロビーで、旧八幡市民会館に関する展示を行う
- ・ 2階席の一部に、ホール内部の収蔵庫を眺望できるスペースを設置